

日立ダイアグノスティックツール HDM-350 ユーザー様

日立 Astemo アフターマーケットジャパン株式会社

HDM-350 ソフトのバージョンアップのご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
診断ソフトをバージョンアップしましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1. バージョンアップ内容

ソフト	バージョン	バージョンアップ内容概略	詳細情報 参照先
日産	7.05	対象車両の追加、作業サポート機能の追加を行いました。	4 ページ

2. バージョンアップ手順

2 ページ目からの手順をご参照のうえ、バージョンアップを行ってください。

3. リリース時期

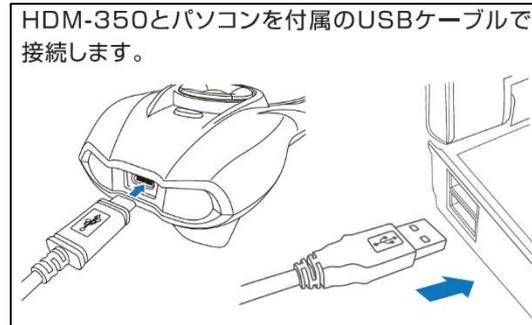
2023年9月13日 19時から、お手元の HDM-350 のバージョンアップを行うことが可能です。

以上

HDM-350 ソフト・バージョンアップ手順 (Win.10 の場合)

本手順を実行いただくと、すべてのソフトが最新版にアップデートされます。個別の診断ソフトごとにこの手順を行う必要はありません。

1. 本体キットに同梱の USB ケーブル (Type C) を使用して、HDM-350 本体とパソコンを接続してください。

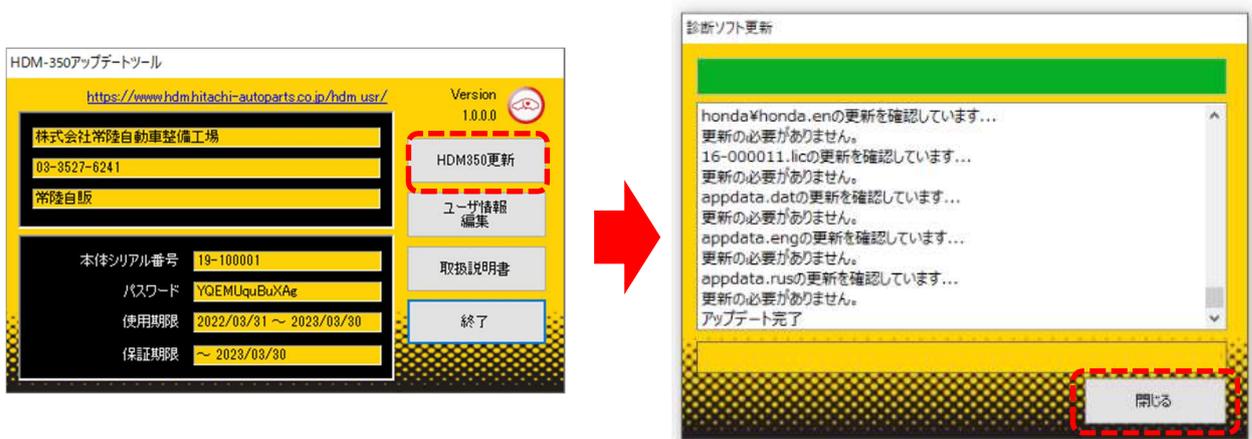


2. 自動再生により PC の画面に「HDM-350」のフォルダーが表示されます。フォルダー内の「HDM-350.exe」をクリックしてバージョンアップツールを起動してください。



自動再生が実行されない場合は次ページの操作方法を参照ください

3. バージョンアップツールの「HDM-350 更新」をクリックしてください。最新の診断ソフトがダウンロードされます。ダウンロードが完了したら、「診断ソフト更新画面」の下部の「閉じる」をクリックしてください。



4. パソコンのタスクバーに表示されている USB のアイコンをクリックして「ハードウェアの安全な取り外し」を実行し、HDM-350 をパソコンから取り外してください。

以上

自動再生が実行されない場合

パソコンによっては、ウイルスソフトが自動的に実行されるのを防止するため、USB メモリなどが接続された際の自動再生が設定されていない場合があります。

自動再生が実行されない場合は、以下の手順で HDM-350 インターフェースボックス内部の「HDM-350.exe」を起動してください。

【手順 1】

パソコンの画面下部に表示されているタスクバーにある「エクスプローラ」をクリックしてください。



【手順 2】

「エクスプローラ」が起動します。画面の左側にある「コンピューター」に「HDM-350」が表示されている場合は、「HDM-350」をクリックしてください。

HDM-350 (D:)

【手順 3】

HDM-350 フォルダ内のファイルが表示されます。「HDM-350.exe」のアイコンをクリックしてバージョンアップツールを起動してください。

HDM-350 本体のパソコンからの取り外しについて

HDM-350 本体のパソコンからの取り外しは、本体内のファイル破損を防止するため、以下手順を行ってください。

- ① パソコン上の HDM-350 フォルダを閉じてください。
- ② パソコンのタスクトレイの取り外しアイコンをクリックしてください。
- ③ 「JOB22 SCAN TOOL の取り外し」をクリックしてください。（「Device の取り出し」表示される場合があります）
- ④ 「ハードウェアの取り外し」が表示されてから、HDM-350 本体をパソコンから取り外してください。

日立ダイアグノスティックツール HDM-350 ユーザー様

日立 Astemo アフターマーケットジャパン株式会社

日産ソフト・バージョンアップのご案内 (Ver.7.05)

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
日産ソフトをバージョンアップしましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1. EV/HEV、HV バッテリ、EV バッテリのデータモニタ追加

追加車両	EV/HEV	HV バッテリ	EV バッテリ	EV バッテリ 2
ノート e-POWER/AURA(E13)	○	○		
スカイライン・ハイブリッド	○	○		
フーガ・ハイブリッド	○	○		
エクストレイル・ハイブリッド				
リーフ (ZE1)	○		○	○
リーフ (ZE0)	○		○	
e-NV200	○		○	
KICKS (P15)		○		

2. 車両別の診断機能追加

車両	追加内容
サクラ (KE0) ※対象車両として新規追加	<ul style="list-style-type: none"> ●自己診断(読取、消去) ●HPCU システムのアクティブテスト「電子膨張弁初期化」 ●メンテナンスモード「EV バッテリ」 ●EV/HEV、EV バッテリ、EV バッテリ 2 のデータモニタ ●作業サポート機能の対応状況については次ページの「3. サクラ (KE0) に対応する作業サポート機能一覧」を参照ください。
ノート e-POWER/AURA(E13)	<ul style="list-style-type: none"> ●エンジンでデータモニタ追加 ●メンテナンスモード/HV バッテリの電圧セル確認 ●EV/HEV のアクティブテスト「整備モード要求」
エクストレイル・ハイブリッド	<ul style="list-style-type: none"> ●EV/HEV の作業サポート クラッチ 1 ゼロ点位置学習、G センサキャリブレーション ●EV/HEV のアクティブテスト 整備モード 1、整備モード 2、整備モード 3、整備モード 5、クランキング ウォータポンプ、可変電圧
スカイライン・ハイブリッド	<ul style="list-style-type: none"> ●EV/HEV のアクティブテスト 上記エクストレイル・ハイブリッドの対応機能とクラッチ 2 初期調整
現在の診断ソフト側で対象としている e-POWER 車/ハイブリッド車	HV 整備モード

次ページに続く

3. サクラ (KEO) に対応する作業サポート機能一覧

システム	作業サポート機能
EV/HEV	<ul style="list-style-type: none"> ●クーリングファン積算作動時間クリア ●CPU交換時データ保存 ●CPU交換時データ書き込み ●バッテリー容量低下データクリア ●高電圧バッテリー/Bデータクリア ●特殊DTCクリア ●VIN登録
ABS	<ul style="list-style-type: none"> ●初期位置調整 ●前後Gセンサキャリブレーション ●舵角センサ調整 ●システムモード切替
VSP	<ul style="list-style-type: none"> ●VSP音量レベル変更
HVAC	<ul style="list-style-type: none"> ●アクチュエータ原点リセット
レーンカメラ	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラエーミング
LASER/RADAR	<ul style="list-style-type: none"> ●ミリ波レーダ光軸調整
AVM	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラキャリブレーション(フロントカメラ) ●カメラキャリブレーション(助手席側サイドカメラ) ●カメラキャリブレーション(運転席側サイドカメラ) ●カメラキャリブレーション(リヤカメラ) ●トップビュー微調整 ●トップビュー境目の強調表示 ●警告文言語切替 ●予想進路線表示 ●自動キャンセル要因(Entry) ●MOD機能
車間自動制御システム/ADAS	<ul style="list-style-type: none"> ●自動キャンセル要因1 ●自動キャンセル要因2 ●自動キャンセル要因6 ●ステアリングトルクキャリブレーション
作業サポートメニューに表示	<ul style="list-style-type: none"> ●車体番号読取

以上